

教育の尊さと平和の象徴



昭和十七年、水泳訓練中に溺れている児童を救い殉職された下閉伊郡豊間根村立国民学校小国テル子訓導の実績を讃えるため、岩手女子師範学校に顕彰碑が建立されたが、昭和二十三年同校の火災で損壊した。

昭和三十年、岩手県教職員組合が、堀江越氏に依頼し、教育の尊さと平和の象徴として岩手公園梅林内に教育記念像を設置し、その際台座に顕彰碑の残片を埋め込みその精神を継承した。以来三十八年、損傷が著しく、このたび県内の教育関係者のご協力を賜り、佐藤祐司氏によって修復元され、この地に移転されたものである。

平成五年九月二十六日

教育記念像復元事業実施委員会

